

# JLEM News Letter Vol.57



## 第 63 回日本語教育方法研究会開催

発表 53 件 参加者 236 名  
第 64 回は桜美林大学にて

2024年9月7日(土)、第63回日本語教育方法研究会がオンラインで開催されました。また、前日の9月6日(金)には、運営委員会が開かれました。議事については、このレターの記事をご覧ください。

次回の第64回研究会は2024年3月3日(日)に桜美林大学(東京都町田市)において対面にて開催します。皆様、奮ってご参加ください。

でしたが、各部屋で活発な議論や情報交換をしていただけたようで、事後アンケートでは交流会の時間はもっと長いほうがよいというご意見を複数いただきました。また、人数が少なく残念だったというご意見もありましたので、次回はぜひみなさまふるってご参加ください。

### 次回開催にあたって

内山 喜代成  
(桜美林大学)

第64回JLEMは3月15日(土)に桜美林大学町田キャンパスで開催されます。本学は創立者が1921年に北京で貧困地域の女子教育のために設立した崇貞学園を起源とし、戦後に町田にて桜美林学園として再出発いたしました。現在、約1000名の国際学生が在籍しており、自律的な学習姿勢を養うためのチュートリアルは本学の日本語教育の特徴です。日本語教員養成課程においても学園のモットーである「学而事人(がくじじん:学んだことを人々や社会のために役立つ)」に基づき小学校、定時制高校、地域の日本語教室、海外の学習者などに対する支援活動をサービ斯拉ーニングとして行っております。教員、学生ともに試行錯誤

の毎日です。日本語教育に関する様々な取り組みをしておりますが、本学でのJLEMの開催は今回が初めてとなります。ご参加される方々の交流、日々の実践について共有できる有意義な場となるよう準備を進めてまいります。

なお桜美林大学は町田以外に新宿、多摩などにもキャンパスがございますのでご注意ください。町田キャンパスはJR横浜線淵野辺駅よりスクールバス、市バスで8分(徒歩25分)です。桜が美しく咲く頃にみなさまをお迎えできることを楽しみにしております。

### 開催を終えて

内藤 真理子  
(事務局)

オンラインでの開催は、今回で7回目となりました。今回も発表53件、参加者236名と、多くの方にご参加いただきました。心より感謝申し上げます。最初のラウンドでは、事務局の不手際でご迷惑をおかけしてしまい、申し訳ありませんでした。次回のオンライン開催では同様のことが起こらないよう、運営方法の見直しをいたします。

今回の研究会では、交流会のテーマを会員の皆様から募り、それを元にテーマの決定を行いました。事前アンケートに答えてくださった皆様、ありがとうございます。交流会の参加者は50名程度と多くはありません

## 第 18 回 JLEM 優秀賞

JLEMの「優秀賞」は、①課題の設定やその検証の視点の独自性、②教育実践、研究成果の発展性、③ポスターの作り方という3点を基準に審査され、優れた発表を行った会員に授与されるものです。また、優秀賞以外にも顕彰に値する発表があった場合には「奨励賞」、優れたポスターを用いた発表があった場合、「ポスター賞」が授与されます。

第63回研究会は会長、及び3名の運営委員で構成されるJLEM賞選考委員会で審査を行いました。その結果は、以下のようになりました。

優秀賞:藤田裕子(桜美林大学)「日

本語学習者のニュース聴解力向上に向けたディクトグロス実施上の提案」

奨励賞，ポスター賞：該当者なし

優秀賞の藤田氏の発表は、ニュースの聴解力の向上のためのディクトグロスを実践し、ディクトグロスを行う際のポイントの検討を行ったものでした。ディクトグロスとは、聞いた内容をメモし、そのメモに基づいてディスカッションを行いながら、文章を復元する活動のことです。藤田氏はディクトグロスを継続的に実践しており、今回の発表は、これまでの実践の積み重ねに基づく成果として高く評価されました。また、ポスターに示された実施ポイントの整理はわかりやすく、J-Readabilityを用いた難易度判定、及びポーズで区切ったチャンクによる再生率計算などは、独自性のある検証の視点で、再現性も高かったです。今後は、同様の実践が広がるだけでなく、学習者による主体的なテーマ選定、聴解以外の四技能への応用など、実践研究として発展していくことも期待されます。受賞のポスターは本会のホームページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

(寺嶋弘道)

## 総会・運営委員会報告

研究会当日の9月7日(土)12:50-13:05, 2024年度日本語教育方法研究会第63回総会が開催され、全ての議案について承認された。

①会員数：2024年9月4日現在、733名（国内706名、海外27名）  
②運営委員の就任（2024年10月より）：荻原まきさん（桜美林大学：編集）、金蘭美さん（横浜国立大学：情報管理）。異動および退任はなし。

③2023年度の決算および2024年度の予算案について会計担当委員より説明。収入が270円多くなり、銀行口座記録確認や再計算を行ったが原因が特定できなかった。今後も精査を続けることを確認し、原案を承認。

④今後の開催予定：第64回研究会（2025年3月15日）は桜美林大学町田キャンパス。第65回研究会（2025年9月）は、オンラインを予定（開催校のお引き受け&運営委員へのご参加、お待ちしております）。

なお、研究会に先だち9月6日（金）にZoomを用いて運営委員会が開かれ、上記報告・審議に加え、以下について話し合われた（出席19名、委任状提出者13名）。

①会誌の図の不備および落丁について：印刷所に確認したが原因不明。J-STAGE掲載時は正式な元原稿を掲載する。落丁のある会誌は申し出を募り再送。次回会誌発送時に正しい原稿を同封する（後日、差し替え分および研究会後の追加発送分の冊子は印刷所のほうで正しい図のシールを貼ることが確約できた）。

②会の趣旨に添わない発表応募について：審査段階を透明化するために、会誌原稿チェック項目シート等の文言を修正し、募集をかける。どのような発表にご辞退願うかについ

ては、今後も議論を続け、随時情報提供を行う。

③オンライン開催時のJLEM賞副賞：2023年度は「1件あたり1名分の次年度会費の免除とする」としていたが会計処理の問題があるため、今後は口座振込にする。

(松崎寛)

## 事務局よりご連絡

### ●発表者の会費支払期限

第64回研究会で発表するためには、発表者（複数の場合は全員）は応募時点で2024年度の会費（2024年4月からの新年度分）を支払っていただかなければなりません。期限は2025年1月10日（金）です。その時点で入金を確認できない方については、発表申し込みを受け付けることはできませんので、早めに入金を済ませてください。昨年度の会費が未納の場合、今年度に会費を支払っても、昨年度分に充てられるため、今年度分は未納のままとなります。発表申し込みを行う前に、必ず発表者全員が各自の会員ページで今年度の会費支払いが済んでいることをご確認ください。

### ●発表をお断りする場合

本研究会では、以下の場合発表をお断りする場合がありますので、ご承知おきください。

- ①本研究会、または他の学会・研究会で既に発表された内容のもの
- ②研究倫理上問題があると考えられるもの

- ③特定の個人や集団を攻撃する内容のもの
- ④特定の教材、商品、サービス等を宣伝するもの
- ⑤日本語教育との関連が見出せないもの

#### ●住所変更等

JLEMでは、会員管理システムに登録された会員住所に会誌を送付していますが、返送されてくるケースがあります。住所変更等があった場合は、速やかに会員専用サイトにてご自身で会員情報の変更をお願いします。なお、転送サービスには対応していません。また、登録の際には、以下の点にご注意ください。

- ・集合住宅にお住まいの場合は建物名まで入力してください。
- ・郵便受けの表札名とご登録の苗字が異なる場合は、住所末尾に「〇〇方」と追記してください。

(内藤真理子)

### J-STAGE について

JLEMでは、研究会誌をJ-STAGEで公開していますが、刊行後1年未満の会誌については書誌情報しか見られないように設定にしています。刊行後1年未満の会誌を読みたい場合は、冊子をご覧ください(※JLEMではJ-STAGEの購読者番号・パスワードの配布はしていません)。また、発表に応募される方は、以下の3点についてご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

- ①JLEMでの発表応募は、「J-STAGEでの公開の承認」を前提とすること

- ②編集担当が最終的な受理とした原稿を後で変更できないこと
- ③研究会当日に発表を行わなかったと判断された場合、その原稿をJ-STAGEで公開しないこと  
(寺嶋弘道)

### 会費納入について

会計年度は、4月から翌年3月までです。研究会のスムーズな運営のために、6月30日までにお支払いくださいますようお願いいたします。

また、各研究会の際に会費納入が終了していない場合は、研究会までに会誌が送付されず、後日送付されることとなります。また、それにより、運営委員の手間が増えることとなります。それはともかく、研究会の際、会誌が手元にないと不便だと思しますので、余裕をもってお支払いをお願いいたします。発表申込の締切日を目安とお考えください。

#### ●振り込み先

<郵便局の電信払込の場合>

記号：10140

番号：69076511

加入者名：日本語教育方法研究会

振込者名：(氏名だけでかまいません)

※所属先名や会員番号は、会員名がカットされることがあるため、書かないでください。

<銀行からの振込の場合>

銀行名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900

店番：018

預金種目：普通

店名：〇一八 店(ゼロイチハチ 店)

口座番号：6907651

加入者名：ニホンゴキョウイクホウ  
ホウケンキョウカイ

振込者名：(氏名だけでかまいません)

※所属先名や会員番号は、会員名がカットされることがあるため、書かないでください。

●ご登録の会員名と異なる名義で振り込む場合(所属先からの振り込みも含む)

必ず振り込みの度に、ホームページの「お問い合わせ」より、その旨ご連絡ください。

●振り込む方の名義が外国語で表記される場合

ご登録の会員名が確認できないことがよくあります。特に、中国の方はピンインで表記されることが多いため、ご登録の会員名(JLEMのシステムでは漢字とカタカナのみ)を検索して確認するのに時間がかかっています。お手数ですが、振り込んだというご連絡をいただけると助かります。

(松崎寛・高橋亜紀子)

## 運営委員会メンバー

会長：松崎寛（日本大学）

事務局：内藤真理子（電気通信大学），  
島山理恵（文化学園大学）

会計：伊藤夏実（東京農工大学），  
島崎薫（東北大学），高橋亜紀子  
（宮城教育大学），平田秀（武蔵  
野大学）

編集（ニュースレター担当）：世良  
時子（上智大学）

編集（会誌担当）：内山喜代成（桜  
美林大学），榎原実香（東京科学  
大学），大津友美（東京外国語大  
学），荻原まき（桜美林大学），  
尾沼玄也（拓殖大学），香月裕介  
（神戸学院大学），鷹野恵（筑紫  
女学園大学），工藤嘉名子（東京  
外国語大学），栗原通世（国士館  
大学），小森万里（大阪大学），  
佐々木良造（静岡大学），鈴木綾  
乃（横浜市立大学），生天目知美  
（東京海洋大学），村上智子（山  
梨学院大学）

編集（J-STAGE 担当）：寺嶋弘道  
（立命館アジア太平洋大学）

情報管理：金蘭美（横浜国立大  
学），佐藤礼子（東京科学大  
学），篠崎大司（別府大学／株式  
会社篠研），橋本直幸（福岡女子  
大学）

企画・広報：河野俊之（横浜国立大  
学），高村めぐみ（愛知大学），  
俵山雄司（名古屋大学），中川健  
司（横浜国立大学），根津誠（国  
際交流基金），長谷川守寿（東京  
都立大学），平山允子（日本学生  
支援機構）

日本語教育方法研究会

問い合わせ先：[jlem-ml@jlem-g.org](mailto:jlem-ml@jlem-g.org)

（レター編集：世良時子）